

(広報資料)

令和3年12月2日

京都市産業観光局

〔担当：観光MICE推進室〕
TEL：075-746-2255

＜宿泊税活用事業＞

地域と連携した取組を進める
宿泊施設を応援します！

地域協働・貢献型宿泊施設の事例勉強会及び相談会の開催について

京都市及び公益社団法人京都市観光協会（DMO KYOTO）では、持続可能な観光を一層進めるため、「京都観光行動基準（京都観光モラル）」の周知や実践を支援しています。

同基準の基本となる「地域文化・コミュニティへの貢献，市民生活との調和」を宿泊施設の皆様と実践していくため，地域協働・貢献型宿泊施設の事例勉強会及び相談会を下記のとおり開催しますので，お知らせします。

記

1 事例勉強会『まちと共に生きるこれからのお宿』について

(1) 目的

地域との調和や貢献を図りたい宿泊施設事業者に向けて，既に地域との協働や地域貢献に取り組んでいる優良な宿泊施設の事例などを紹介し，地域の持続的発展に取り組む質の高い宿泊施設の増加を図ります。

(2) 日時

第1回：令和3年12月16日（木）午後2時～午後4時

第2回：令和3年12月23日（木）午後2時～午後4時

(3) 場所

QUESTION 7階 Creative commons2（京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2）

※ オンライン会議システムZoomでの参加も可能です（オンライン参加用URLは，お申込みいただいた方に後日お知らせします。）

(4) 対象

京都市内の宿泊施設事業者等

※ 宿泊施設と連携した取組の実施をお考えの商店街や自治会等の地域団体も参加可

(5) テーマ

第1回：「まち」の情報発信から始まる，地域と宿泊施設の関係づくり

第2回：地域の資源を活かしたこれからの観光とは？

(6) スケジュール

ア 第1回勉強会 ～「まち」の情報発信から始まる，地域と宿泊施設の関係づくり～

午後1時45分 開場

午後2時 開会挨拶

午後2時15分 ゲストトーク&セッション

午後3時15分 参加者を交えたセッション

午後4時 閉会挨拶／交流会

【講師】西濱 萌根 / HOSTEL NINIROOM 共同代表

横山 恵 / KeFU stay&lounge 責任者

松下 秋裕 / LINNAS kanazawa 代表

イ 第2回勉強会 ～地域の資源を活かしたこれからの観光とは？～

午後1時45分 開場
午後2時 開会挨拶
午後2時15分 ゲストトーク&セッション
午後3時15分 参加者を交えたセッション
午後4時 閉会挨拶/交流会

【講師】 沼田 竜也 / 分散型民泊 Kamon Inn 番頭
扇沢 友樹 / KAGANHOTEL プロデューサー
朴 徹雄 / ゲストハウス萬家 代表

(7) 定員

各20名 (いずれも事前申込制・先着順)

(8) 参加費

無料

(9) 申込方法 (FAX・メール・Peatix・Facebookにて受付)

ア FAX・メール

別紙の申込用紙により、令和3年12月15日(水)までに、地域協働・貢献型宿泊施設促進制度事務局(まちとしごと総合研究所)に申し込みください。

FAX: 075-257-7846 メール: office@machigoto.net

イ Peatix 下記URLから申し込みください。

第1回 12月16日(木) <https://machitoyado5.peatix.com/>

第2回 12月23日(木) <https://machitoyado6.peatix.com/>

ウ Facebook 下記URLから申し込みください。

第1回 12月16日(木) <https://www.facebook.com/events/688545795865852>

第2回 12月23日(木) <https://www.facebook.com/events/939362073658368>

2 相談会について

事例勉強会『まちと共に生きるこれからのお宿』の講師等による、相談会を以下のとおり開催します。勉強会で紹介のあった事例や周辺住民との良好な関係を築くに至った経過など相談員自身の実体験も交えてお話しします。

(1) 日時・会場等

実施回	日時	会場(住所)
第1回	令和4年1月12日(水) 午後1時～午後2時	HOSTEL NINIROOM (京都市左京区東丸太町30-3)
第2回	令和4年1月19日(水) 午後1時～午後2時	KAGAN HOTEL (京都市下京区朱雀宝蔵町99)
第3回	令和4年1月26日(水) 午後1時～午後2時	KeFU stay&lounge (京都市上京区五辻通千本東入上る桐木町880)
第4回	令和4年2月2日(水) 午後1時～午後2時	Kamon Inn Toji (京都市南区東寺東門前町54番地2)

※ 事前申込制。オンライン会議システムZoomでの相談も可能です(オンライン参加用URLは、お申込みいただいた方に後日お知らせします。)

(2) 対象

京都市内の宿泊施設事業者等

※ 宿泊施設と連携した取組の実施をお考えの商店街や自治会等の地域団体も参加可

(3) 参加費

無料

(4) 申込方法 (電話またはメールにて受付)

相談日の前日までに、地域協働・貢献型宿泊施設促進制度事務局(まちとしごと総合研究所)に申し込みください。

電話: 075-257-7871 メール: office@machigoto.net

【講師プロフィール】

<第1回>

西濱 萌根 / 株式会社 NINIRoom 共同代表

1985年大阪生まれ。神戸大学発達科学部を卒業後、パナソニック株式会社へ入社。2017年6月に株式会社NINIを設立し、12月には神宮丸太町にHOSTEL NINIRoomを開設。現在は、岡崎エリアで暮らす人や訪れる人へのインタビュー記事を掲載したホームページの開設や、宿を起点とし様々なプロジェクトを生み出し、地域や事業の魅力を発信している。2019年京都らしい宿泊施設表彰を京都市から受賞。

横山 恵 / KeFU stay&lounge 責任者

1989年兵庫県尼崎市生まれ。東京の飲食店で勤務している際に、当施設の設計事務所より誘われ、2019年より開業に向けたスタッフとして株式会社アセスに入社し京都へ移住。同社グループの京都事業を統括するプロジェクトマネージャーとして活動。地域の店舗や関係者とのネットワークを築きながら、2020年4月に開業。現在は、西陣エリアの様々な事業者との共同イベントや、近隣住民との交流イベントを開催するなど、西陣エリアの「ひと」「こと」「もの」を繋ぐハブとなるべく活動中。

松下 秋裕 / LINNAS kanazawa 代表

1990年東京生まれ。中央大学法学部卒。学生時代にエストニアタリン大学に1年半留学。大学卒業後、外資系不動産会社にて不動産運用業務に従事。2015年10月、ホテルベンチャーに一号社員として入社、新規宿泊施設開業4件に携わり、全施設のマーケティング、採用、運営統括などホテル運営の幅広い業務を経験する。2020年11月に独立し、場のプロデュースとコミュニティデザインを行う株式会社Linnas Designを設立。2021年4月に一号店となるライフスタイルホテル『LINNAS Kanazawa』を金沢に開業。趣味は旅と言語で、世界64カ国に渡航。

<第2回>

沼田竜也 / 分散型民泊 Kamon Inn 番頭

1988年京都生まれ。元市役所職員。公務員時代の4年間は区画整理事業に従事。退職後は京都にてカフェをオープンし、現在は京都、東京、鹿児島に16棟ある「分散型民泊 Kamon Inn (カモンイン)」の番頭になる。宿運営の他、カフェ事業やシェアハウス事業、レンタルスペースの運営を行い、シェアリングブランドの領域を展開中。地域のハブとなれるよう、空間や場所を活かし「ヒト・モノ・コトがつながる居場所づくり」に取り組んでいる。

扇沢友樹 / KAGANHOTEL プロデューサー

1988生まれ不動産脚本家。KAGANHOTEL プロデューサー。アートホテルとして運営しながら、若手アーティストが住み、ギャラリーや24時間使えるスタジオも併設している。若手アーティストにとって重要なファンやコレクターとの出会いの場、制作した作品が購入され、生活を支える仕組みを設計するなど「設立好奇心、文脈思考、ファイナンス、法律」を武器に使われなくなった不動産にコンセプトを入れるお仕事を展開。

朴 徹雄 / ゲストハウス萬家 代表

韓国ソウル生まれ。大学卒業後、ワーキングホリデーで来日。学生の頃から、様々な人種の人々がお互いに理解し尊重し合える社会をつくりたいと考え、その手段としてゲストハウス開業を決意。2016年にゲストハウス品川宿で修行ののち、奥さんの出身地である兵庫県神戸市にゲストハウス萬家をオープン。地元の水道筋商店街の食べ歩きツアーや交流スペースでのイベントなどを通じて、地域に密着した“ふだん着”の神戸を体験できる宿泊施設として運営する。

【参考】「地域協働・貢献型宿泊施設促進制度」について

地域の持続的発展に向けて宿泊観光の効果を市民生活の豊かさに一層つなげるため、地域団体等との協働によるまちづくりや地域貢献に取り組むなど、質の高い宿泊施設の拡大を図るため、各種支援を実施。

地域との調和を検討している宿泊施設への支援

地域との協働や地域貢献に取り組む宿泊施設の事例勉強会の開催や、地域と宿泊施設のマッチング、取組の企画・実施等に係る支援に取り組み、地域との調和を検討している宿泊施設を支援。

地域との協働によるまちづくりや地域貢献に取り組む宿泊施設への支援

「市民生活と調和し、地域に貢献する」京都らしい宿泊施設の表彰、地域協働や地域貢献の優良事例を京都市情報館等でPRすることなどにより、地域との協働・地域貢献に取り組む宿泊施設を支援。

【参考】「京都観光行動基準（京都観光モラル）」※抜粋

<観光事業者・従事者等の皆様と大切にしていきたいこと>

～地域とともに事業が持続的に発展していくために～

(地域文化・コミュニティへの貢献，市民生活と観光の調和)

1 地域の魅力や，市民生活の豊かさが高まるよう，地域との調和に配慮し，地域文化・コミュニティ・経済の発展に貢献するとともに，観光客に対しても，地域のルールや習慣を伝えていきましょう。

(質の高いサービス・商品の提供・人材育成)

2 観光客が感動し，京都を再び訪れたいと思っただけけるよう，京都の歴史や文化，伝統を学ぶとともに，観光客それぞれの文化や生活習慣をよく理解し，敬い，おもてなしの心でサービス・商品の質を高めていきましょう。

(環境・景観の保全)

3 京都の美しい自然やまちなみと地球環境の保全につながるよう，地域の自然環境や景観に配慮するとともに，環境にやさしい事業活動を行いましょう。

(災害や感染症等の危機に強い観光の実現)

4 誰もが安心・安全で過ごせるとともに，事業を継続し，従業員の雇用を維持できるよう，災害や感染症，事故等に注意し，十分に備え適切に行動しましょう。

※その他の項目等は以下から御確認いただけます。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000277340.html>